

学校教育目標

学び合い、支え合い、たくましく生きる子どもの育成

知識・技能の習得

- ・考えをもち、発表できる(知)
- ・礼儀正しく、決まりや約束を守る(徳)
- ・楽しく根気強く、体力づくりに取り組んでいる(体)

思考力・判断力・表現力の育成

- ・聴き合い、考えを出し合う(知)
- ・思いやりの心をもち、支え合う(徳)
- ・自他の命や体を大切に(体)

学びに向かう力・人間性の涵養

- ・探求心をもって根気強く創意工夫する(知)
- ・感謝の心をもって、学校・家庭・地域に奉仕する(徳)
- ・健康安全を考え、自分の生活を改善する(体)

《児童の学力状況や学習状況》

- ・5年生の大分県学力定着状況調査では、概ね平均正答率に達している。
- ・学習への取組に肯定的な回答をした児童94%
- ・「学習規律ができています」と回答した児童94%
- ・特別支援学級在籍以外に、個別に支援が必要な児童が60人

《授業改善テーマ》

分かる授業の実践により、基本を身に付け、学び合う児童の育成

《取り組み指標》

- ・1時間完結型の授業実践を実践する。・自分の考えを「もつ」「伝える」「聞く」場面を取り入れ、話す・聞く交流活動を設定する

《検証指標》

- ・国語と算数の単元末テストにおいて、到達目標に達した児童【75%】
- ・1時間完結型の授業実践を予定時間で実践した教員【80%】
- ・児童アンケートにおいて、自分の考えを「もつ」「伝える」「聞く」場面を取り入れ、話す・聞くことのできる児童【93%】
- ・「学びの根っこ」(学習規律に関する5項目)を定着させる取り組み【91%】

<授業改善の重点1> わかる授業づくり

取組内容

- ・全教科において、理解を高める為の視覚化支援を取り入れる
- ・「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」のカードを活用し、板書の構造化を行い、その時間に学ぶことを明確にする
- ・子どもが考えを「もつ」「伝える」、相手の考えを「聞く」活動を取り入れた交流活動を設定する
- ・「学びの根っこ」を月目標に細分化して提示し、学習規律の定着を図る
- ・強化週間を設定し、意識付け定着を図る
- ・自己決定・自己存在感・共感的人間関係を意識した問題解決的な展開の授業づくり

<授業改善の重点2> 個に応じた指導体制の工夫

取組内容

- ・各学年や個人に応じた家庭学習の在り方(時間・内容・方法)を指導し、基礎学力の定着や活用の力の向上を目指す
- ・学習形態の工夫(少人数指導、個別指導、習熟別指導等)
- ・指導法等工夫改善教員の活用 4年・5年算数
- ・毎週火曜・木曜の朝の時間(チャレンジタイム)における成果が実感できる内容の工夫と基礎・基本の定着
- ・児童支援加配による個別指導
- ・支援が必要な児童に対し「個別の指導計画」を作成
- ・特別支援コーディネーターを中心としたケース会議や特別支援教育推進会議の定例化(第2金曜日)を行い、児童の支援の方向性を話し合う
- ・SSW、SCとの連携
- ・ICTの活用
- ・新1年生保護者への個人面談実施し、情報を早期に収集する。
- ・学力定着状況調査の分析を基にした学力向上の計画と実践

< 家庭・地域との連携 >

○家庭と連携し家庭学習の習慣を図る

- ・学年初めの懇談会で「家庭学習の手引き」を説明し、保護者との連携を図る。

○地域人材・地域素材を生かした体験活動を計画的に行う

- ・地域の方々による放課後の体験学習(月1回水曜日 ふれあい広場)
- ・特別支援学校との交流(4年、交流学級)
- ・高齢者福祉施設との交流(3年) 田植え、稲刈り体験(5年)
- ・教育ボランティア等外部人材の活用(校区内の税理士、昔の遊び体験、ミシン学習、花壇のお世話・鯉のお世話ボランティア等)

○読書活動の推進

- ・豊富な読書量で読む力を向上させ、各教科の学力向上を目指す(年間図書館利用冊目標数、低100冊 中80冊 高60冊)
- ・調べ学習における図書館の活用
- ・授業に関連した図書を学級に置き、知識を増やす
- ・9分類以外の本を読む事を奨励し、興味、関心を広げる
- ・年2回の「図書館祭り」実施で、読書の楽しみ方を広げる
- ・ボランティアによる読み聞かせ(低学年・月1回火曜日)

○小中連携・幼保小連携・キャリア教育

- ・3校合同授業研究会、職員合同研修、小中互見授業
- ・合同学校評議員会・幼保小連絡協議会
- ・合同音楽会、中学校体験授業、合同入学説明会(6年)
- ・9年間を見通したキャリア教育推進のための教育課程編成
- ・保育園、幼稚園との交流

○体力を育て集中力を高める

- ・毎月「~名人」を目指して、運動に取り組む
- ・天気の良い日の外遊びの奨励
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」で生活のリズムを整える
- ・給食で、バランスよく食べる指導を行う

自尊感情を高める

個々の学力保障

## 大分市立宗方小学校 学力向上プランⅠ（9月）

児童生徒の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期末学校評価アンケートで「考えや分かったことを書くことができた」と回答した児童 94%</li> <li>・1学期末学校評価で「学びの根っこ」が身に付いたと答えた児童 94%→昨年同時期比+5%</li> <li>・計算力や漢字の読み書きの基礎力の向上</li> <li>・文章の読解力や活用力の向上</li> <li>・話す・聞く力（集中して話を聞く力）の向上</li> <li>・自ら学ぼうとする力（学習意欲）の向上</li> </ul>
指導の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、分掌会議（研修部）で、取組項目の計画と反省をし、職員会議で周知</li> <li>・学習規律を付ける「学びの根っこ」を細分化した月目標の取組。<u>強化週間の設定</u> →<u>具体的取組については学年で共通した内容</u></li> <li>・週2回のチャレンジタイムでは基礎・基本の定着を目指し、学年部で共通した内容の取組</li> <li>・系統的な家庭学習の手引きを作成し、家庭に配布</li> <li>・読書活動の推進。（図書館利用促進）図書館まつりの実施</li> <li>・基礎体力を付ける取組（体力名人カード・休み時間の外遊びの奨励）</li> <li>・全教科において、理解を深める為にICTや具体物等の視覚化支援を取り入れた取組</li> <li>・2学期以降、高学年で、教科担当制を取り入れ、<u>学習指導の工夫をする</u></li> <li>・学習形態の工夫（<u>少人数指導・個別指導・習熟度別指導など</u>）</li> </ul>



今後の具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○取組項目の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの根っこ」を中心に、学習規律を1か月単位で指導していく（学年に応じたためあて）</li> <li>・月1回の分掌会議で話し合われる取組項目の成果と課題を、全教員の学習指導に役立たせる</li> </ul> </li> <li>○授業改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの考えを「もつ」時間の設定、それを相手に「伝える」、相手の考えを「聞く」活動を取り入れる取組を継続する</li> <li>・「2020からの新しい授業づくりハンドブック」や「学力向上アクションプラン」を活用する</li> <li>・互見授業の計画と実施により、個人の授業実践の改善に役立たせる</li> <li>・板書の構造化を目指し、「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」カードを活用する</li> <li>・全教科において、ICTや具体物等の視覚化支援をより効果的に取り入れ、理解を深める</li> </ul> </li> <li>○学習状況・指導改善 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主学習や学習の評価に児童の励みとなる手立てをする（コメント・シールなど）</li> <li>・教師が求める「話し方、聞き方」のモデルを、図や具体的に提示して継続的に指導する</li> <li>・スモールステップで「分かった」という学習体験を増やし、意欲を高める</li> <li>・基礎力を高める手立ての見直し。チャレンジタイムの有効活用</li> <li>・個別学習の工夫</li> <li>・自学の質向上を目指した指導の工夫</li> <li>・（高学年）小中一貫での指導の連続性</li> </ul> </li> <li>○読解力向上の取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動の見直し（学年に応じた図書紹介・図書館利用・量より質の読書活動）</li> <li>・言語に関する学習の改善を図る</li> </ul> </li> </ul>
-----------	--